

# 平成30年度 宇都宮市立清原中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

## 1 教育目標（目指す生徒像含む）

### (1) 基本目標

①活力ある生徒 ②よく考え、創造する生徒 ③豊かな心を持ち、思いやりのある生徒

### (2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

①頑張る人 ②考える人 思いやりのある人

## 2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

豊かな心と健やかな身体をもち、社会の変化に主体的に関われる能力や創造力を培い、自らの向上とより良い社会の発展を目指し、国際社会に生きる人間性豊かでたくましく生きる生徒を育成する。

## 3 学校経営の方針（中期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

(1) 教職員の和を基調とし、「教師が変われば、生徒も変わる」を信条に、師弟同行の実践を踏まえ、「生徒を前面に出し、見守り・見届ける」生徒指導に徹する。

(2) 知・徳・体の調和を図り、各教科等において基礎・基本、体験的な学習や課題学習、個に応じた指導を重視し、自ら学ぶ態度を育成する。

(3) 道徳教育・人権教育・国際理解教育の充実と各教科、特別活動、総合的な学習の時間等の特質に応じた指導の深化を図り、生徒の活力を醸成する。

(4) 一人ひとりの生徒が自己の特性について理解を深め、進路に関する情報を収集・活用し自らの生き方を探求するとともに、進路の選択・決定が出来るよう、家庭・学校・地域社会との連携を密にしながら、指導・支援に努める。

(5) 緑に恵まれた環境を活かし、思いやりや助け合う心を育て、特色ある学校づくりに努める。

### 【清原地域学校園教育ビジョン】

自己を見つめ、自己のよさを生かした夢の実現に向けて主体的に取り組む児童生徒の育成  
～キャリア教育（生き方）を核として～

## 4 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

1 思いやりを持ち、認め合い、助け合いながら良好な人間関係を築ける生徒の育成

2 国語科, 算数・数学科, 外国語指導・英語科を中心として, 9年間の指導の系統性を生かした表現力の育成

3 ふわふわ言葉（やさしい言葉）の推進・ちくちく言葉（人を傷つける言葉）の禁止

4 健康教育及び安全教育を推進し、心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成を図る

5 ITを活用して業務の効率化を図ると共に、日課を工夫して生徒と向き合う時間の確保に努める。

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	<p>A 1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である」 ⇒ <b>生徒の肯定的回答 88%以上</b></p>	<p>① 学校行事では、生徒会活動を中心に生徒の自発的・自治的活動を取り入れて、指導に当たる。</p> <p>② 教師から積極的にあいさつをして、学校全体が明るい雰囲気になるように努める。</p>	B	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 <b>82.7% (- 5.3)</b></p> <p>【次年度の方針】 引き続き、生徒会活動を活性化するために、専門委員会等の組織の改編等も含めて、生徒の自発的な活動を伸ばしていけるように指導していく。 また、生徒の活動の様子をホームページや各種たよりなどで積極的に発信していく必要がある。</p>
	<p>A 2 教職員は協力し、生徒の良いところを認め、教えるべきことを熱心に指導している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「教職員は協力して、生徒の良いところを認め、教えるべきことを熱心に指導している」 ⇒ <b>教職員の肯定的回答 90%以上</b></p>	<p>① 話し合い活動を取り入れた一人一授業としての公開授業を行い、授業研究や教材開発に努め、授業力向上を図る。</p>	B	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 <b>100.0% (+13.0)</b></p> <p>【次年度の方針】 保護者の肯定的回答が市の平均に達していないので、授業参観やオープンスクールの回数を増やし、生徒の良いところを保護者に伝える。 教職員は生徒の良いところを情報交換しながら、生徒の理解の度合いに応じた授業を展開する。</p>
	<p>A 3 生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒ <b>教職員の肯定的回答 75%以上</b></p>	<p>① 生徒会中央委員会や生徒会学年委員会の活動を活性化し、生徒の自主的な活動を通して、自分の役割を果たすことやルールを守ることの大切さを理解させ、基本的な生活習慣の徹底を図る。</p>	B	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 <b>83.7% (+ 8.7)</b></p> <p>【次年度の方針】 教職員の肯定的回答が目標値を達成している。引き続き、生徒会が中心となって生徒が活動できる場を増やす工夫や、生活ルールの明確化を行い、掲示物等で周知していくことで、生徒の規範意識が高められるように指導していく。</p>

<p>A 4 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている」 ⇒ <b>教職員の肯定的回答 90%以上</b></p>	<p>① 生徒に達成感をもたせるように「本時の目標」を明確にし、「振り返り」を行うことで、分かる授業の展開を図る。</p> <p>② ペアやグループ学習を取り入れた対話的な活動や ICT を活用した視覚的な活動を通して、きめ細かな指導を図る。</p> <p>③ 英数では、TT や習熟度別学習を取り入れ、きめ細かな指導を図る。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 <b>100.0% (+10.0)</b></p> <p>【次年度の方針】 「課題の提示」「学び合い」「振り返り」の適切な位置付けを共通理解し、全校体制で授業力向上に努めていく。 英・数では、TT での授業形態を工夫し、つまりきの見られる生徒への指導を図る。</p>
<p>A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、いじめ対策を積極的に公表し、熱心に取り組んでいる。」 ⇒ <b>生徒の肯定的回答 90%以上</b></p>	<p>① 道徳の授業において、いじめについて考えさせたり、話し合い活動をさせたりする。</p> <p>② 生徒朝会や学年集会において、いじめの根絶に向けた具体的取組を行う。</p> <p>③ 保護者会や学校・学年・生徒指導だよりなどで、いじめの未然防止について取り上げ、いじめ根絶に向けた本校の取組を発信する。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 <b>91.8% (+ 1.8)</b></p> <p>【次年度の方針】 いじめに関する様々な取組が生徒にも浸透し、効果が上がっていると思われる。 また、いじめアンケート実施後の速やかな対応も効果が上がっていると考えられるので、これからも、生徒主体のいじめ根絶集会や、言葉遣いに関する指導、道徳の授業でのいじめの指導を展開していく。</p>
<p>A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校の日課、授業、行事などの教育課程は、適切に実施されている」 ⇒ <b>教職員の肯定的回答 94%以上</b> <b>生徒の肯定的回答 85%以上</b></p>	<p>① 年間を見通して、生徒が意欲的に活動できるよう、学校行事の準備等の時間的位置付けを工夫し、生徒の主体的な活動を支援する。</p> <p>② 今年度の教育課程を着実に実行するとともに、諸活動の評価や反省を行い、次年度に生かすようにする。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 <b>100.0% (+ 6.0)</b> 生徒の肯定的回答 <b>89.5% (+ 4.5)</b></p> <p>【次年度の方針】 今後も、生徒の主体的な活動を支援するとともに、PDCAサイクルを活用して確実に改善を図ることに力を入れる。</p>
<p>A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、学校だよりや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」 ⇒ <b>保護者の肯定的回答 95%以上</b> <b>地域住民の肯定的回答 90%以上</b></p>	<p>① 学校行事や保護者会、オープンスクール週間等で、学校公開を積極的に行う。</p> <p>② 個人情報保護を厳守の上、各種便りやHPの更新をこまめに行い、学校の様子を積極的に発信する。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答 <b>93.2% (- 1.8)</b> 住民の肯定的回答 <b>89.5% (- 0.5)</b></p> <p>【次年度の方針】 目標の達成には至っていないので、新たな取組が必要になる。 ・オープンスクール週間を設けて、授業参観を増やし、開かれた学校をアピールする。 ・ホームページの更新をより一層こまめに行い、情報を発信し続ける。</p>

<p>A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った学校づくりが推進されている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒ <b>教職員の肯定的回答 92%以上</b> <b>保護者の肯定的回答 89%以上</b> <b>地域住民の肯定的回答 98%以上</b></p>	<p>① 地域コーディネーターに、必要な学校支援ボランティアの依頼をし、協力を得るなど「魅力ある学校づくり地域協議会」の協力を得て、学校運営の充実を図る。</p> <p>② 図書、マシン、調理、交通指導等のボランティアの様子をHP等で情報発信する。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 <b>100.0% (+ 8.0)</b> 保護者の肯定的回答 <b>88.7% (- 0.3)</b> 住民の肯定的回答 <b>94.7% (- 3.3)</b></p> <p>【次年度の方針】 地域連携教員と地域コーディネーターとの連携を密にするとともに、保護者へのボランティア依頼に関して、門戸を広げる必要がある。 地域連携教員が主務者となり、地域や家庭との連携を充実させる。</p>
<p>A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校は、清掃が行き届き、荷物や備品などが整理整頓され、学習しやすい環境である」 ⇒ <b>教職員の肯定的回答 70%以上</b> <b>生徒の肯定的回答 85%以上</b></p>	<p>① 清掃用具の準備・保管・補充を定期的に行うとともに、各清掃場所の清掃マニュアルを作成する。</p> <p>② 教師と生徒がともに清掃し、生徒の意識を高め、美化委員会を中心に「きれいな学校づくり」を啓発して、より良い環境づくりに努める。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 <b>81.6% (+11.6)</b> 生徒の肯定的回答 <b>86.1% (+ 1.1)</b></p> <p>【次年度の方針】 引き続き、清掃用具の準備・保管・補充を定期的に行うとともに、各清掃場所の清掃マニュアルの充実を図る。また、教師と生徒がともに清掃し、生徒の意識を高め、美化委員会を中心に「きれいな学校づくり」を啓発する。さらに、清掃だけにとどまらず、荷物や備品などの整理整頓についても呼びかけ、よりよい環境づくりに努める。</p>
<p>A 10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、小学生や中学生が連携した取り組みを主体的に行っている」 ⇒ <b>教職員の肯定的回答 89%以上</b></p>	<p>① 中1ギャップの解消のために、小6の中学校訪問などの機会をとらえて、小・中交流に加え小・小交流の機会を作る。</p> <p>② 中学生が小学校へ出向いて、あいさつ運動をすることにより、小学生と中学生の交流を図る。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 <b>93.9% (+ 4.3)</b></p> <p>【次年度の方針】 清原地域学校園の学力向上に重点を置いた組織に改編するとともに、乗り入れ授業についても見直しを図る。 小・小交流については、中学校では実施せず、小学校で工夫して頂く。 あいさつ運動を継続させるとともに、より多くの生徒があいさつ運動に参加できるように工夫が必要である。参加生徒の募集の仕方を改善する必要がある。</p>

	<p>A11 多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている」 ⇒ <b>教職員の肯定的回答 80%以上</b></p>	<p>① スクールカウンセラーとの連携を密にして、生徒の様子を把握し、生徒理解に生かす。</p> <p>② 積極的に学習支援ボランティアを活用し、教職員が生徒と向き合う時間を増やす。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 <b>79.6% (- 0.4)</b></p> <p>【次年度の方針】 SC・MS・学習ボランティア等との連携は行われているが、教職員の業務が縮減されるには至っていない。 今後は、部活動の外部指導者等の積極的な登用により、先生方が放課後の時間を事務作業に充てることのできるようにすることで、残業時間の短縮を図る工夫が必要である。</p>
	<p>A12 教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている」 ⇒ <b>教職員の肯定的回答 80%以上</b></p>	<p>① SCM, 担任とスクールカウンセラーとの間で、情報交換を密に行う。</p> <p>② 学習支援ボランティアとの事前打合せや事後の振り返りをしっかりと行う。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 <b>93.9% (+13.9)</b></p> <p>【次年度の方針】 SCM, 担任とスクールカウンセラーとの連携や学習支援ボランティアとの事前打合せ、事後の振り返り等もスムーズに行われている。 今後も多様な専門性を有する学校スタッフ（SC・MS等）が各種部会等に参加する体制を継続していくことで、生徒が安心できる学校づくりを目指していく。</p>
<p>教育活動の状況</p> <p>生</p> <p>活</p>	<p>A13 生徒は、進んであいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒ <b>生徒の肯定的回答 90%以上</b></p>	<p>① 生徒会を中心とした、あいさつ運動を実施する。</p> <p>② 先生からあいさつを率先垂範して行うことで、生徒のあいさつへの意識を高めるとともに、学級における朝のあいさつ、授業開始時・終了時のあいさつを徹底する。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 <b>87.4% (- 2.6)</b></p> <p>【次年度の方針】 これまでの取組により、生徒の肯定回答率が上昇してきているので、これからも継続して生徒会を中心としたあいさつ運動や、教師から率先垂範でのあいさつを行うとともに、これらの活動に参加する生徒を増やしていくことで活動の充実を図る。</p>
	<p>A14 生徒は、正しい言葉づかいをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、時と場に応じた言葉づかいをしている」 ⇒ <b>教職員の肯定的 75%以上</b></p>	<p>① 生徒が場に応じた言葉づかいができるように、授業中の発言や質問の時などの機会をとらえ、教職員全体で指導にあたる。</p> <p>② 言葉遣いに関する掲示物を作り、生徒の意識の高揚を図る。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 <b>81.6% (+ 6.6)</b></p> <p>【次年度の方針】 生徒が時と場に応じた言葉遣いができるように教職員全体として一貫した指導に当たる。また、今後も、地域学校園全体でふわふわ言葉の推進を図るとともに、生徒指導だよりを通して言葉づかいに関する生徒の意識の高揚を図る。</p>

健康・体力学習等	<p>A15 生徒は、進んで運動する習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、休み時間や放課後などに積極的に運動している」 ⇒ 教職員の肯定的回答80%以上 生徒の肯定的回答76%以上</p>	<p>① 昼休みに体育館を開放し、休み時間に積極的に運動できる機会を設ける。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 <b>83.7% (+ 3.7)</b> 生徒の肯定的回答 <b>67.9% (- 8.1)</b></p> <p>【次年度の方針】 昼休みに体育館を開放し、休み時間に積極的に運動できる機会を設けるとともに、保健体育委員会で「運動週間」を設け、休み時間等に積極的に運動をするように呼びかけを行う。</p>
	<p>A16 生徒は、栄養のバランスを考えて食事をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、好き嫌いなく給食を食べている(嫌いなものでも1口は食べている)」 ⇒ 教職員の肯定的回答75%以上 生徒の肯定的回答75%以上</p>	<p>① 保健だより・給食だよりを定期的に発行し、生徒・保護者へ食育や健康の重要性について啓発したり、朝食に関する強調週間を設けたりして食生活に対する意識を高める。</p> <p>② 学級担任からは、嫌いなものでも一口は食べるように働きかける。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 <b>73.5% (- 1.5)</b> 生徒の肯定的回答 <b>79.9% (+ 4.9)</b></p> <p>【次年度の方針】 引き続き、保健だより・給食だよりを定期的に発行し、生徒・保護者へ食育や健康の重要性について啓発したり、朝食に関する強調週間を設けたりして食生活に対する意識を高めていきたい。また、学級担任からは、嫌いなものでも一口は食べるように働きかけを継続していく。</p>
学習等	<p>A17 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、授業中に進んで話し合い、わかりやすく発表するなど、積極的に学習している」 ⇒ 生徒の肯定的回答 <b>80%以上</b></p>	<p>① 生徒会学芸委員会の活動で、自主学習ノートの展示やテストの予想問題作成等を通して、学習意欲の向上を図る。</p> <p>② 小グループなどで生徒が話し合いをする場面を意図的に設定するなど学習形態を工夫する。</p> <p>③ 学習の意義・価値観をもたせるような進路指導を学級活動に取り入れる。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 <b>86.4% (+ 6.4)</b></p> <p>【次年度の方針】 引き続き意図的に話し合い活動を取り入れた授業づくりを行い、分かりやすい指導法の工夫を図る。 「きよはら学習ガイド」を活用し、自主学習ノートの活用の充実を図る。また、生徒会学習委員会の活動をさらに充実させていく。</p>
	<p>A18 生徒は、落ち着いて学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」 ⇒ 教職員の肯定的回答70%以上 生徒の肯定的回答70%以上</p>	<p>① 学習のきまりを周知し、本時のねらいを明確にして振り返りを行う授業を行うとともに、教材を工夫し、授業に集中させるようにする。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 <b>95.9% (+25.9)</b> 生徒の肯定的回答 <b>79.9% (+ 9.9)</b></p> <p>【次年度の方針】 「朝の読書」の時間を徹底して実施し、落ち着いた生活態度をもって一日をスタートさせるようにする。</p>

	<p>A19 生徒は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。」 ⇒ <b>地域住民の肯定的回答 80%以上</b> <b>生徒の肯定的回答 75%以上</b></p>	<p>① 年間10回程度の各種ボランティアに、部活動単位で参加し、地域との交流を深める。</p>	<p>【達成状況】 住民の肯定的回答 <b>88.9% (+ 8.9)</b> 生徒の肯定的回答 <b>68.1% (- 6.9)</b></p> <p>【次年度の方針】 部活動単位での参加は継続しつつ、各種ボランティアごとに、全校生徒へ参加を呼びかけ、参加者を募る。 生徒会「ボランティア委員会」を立ち上げ、奉仕の精神を培っていくとともに、地域でのボランティア活動や行事に参加する。</p>
	<p>B1 生徒は、恵まれた環境を生かして、クリーン活動に前向きに取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 ⇒ <b>教職員の肯定的回答 70%以上</b> <b>生徒の肯定的回答 85%以上</b></p>	<p>① クリーン活動を学期に1回ずつ実施する。</p> <p>② クリーン活動は、校内にとどまらず地域に範囲を広げることで、地域貢献(奉仕)の意識を高める。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 <b>100.0% (+30.0)</b> 生徒の肯定的回答 <b>89.8% (+ 4.8)</b></p> <p>【次年度の方針】 次年度は、範囲を校内に絞り、年2回、学級ごとに除草作業や落ち葉掃きを行い、クリーン活動の充実を図るとともに、より主体的かつ効果的に活動が行えるように働きかけていく。</p>
<p>本校の特色・課題等</p>	<p>B2 「教職員は、いろいろな場面で、生徒の良いところを認め、ほめたりしている」</p> <p>【数値指標】 ⇒ <b>生徒の肯定的回答 86%以上</b></p>	<p>① 授業中の発表の機会や運動会、文化祭、修学旅行等の学校・学年行事の振り返りを行い、生徒の良さを見出し、称賛する。</p> <p>② 保護者への連絡等をする機会に、生徒の良い点を伝えるようにする。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 <b>87.7% (+ 1.1)</b></p> <p>【次年度の方針】 生徒が活躍する場面を意図的に作り、積極的に褒め認めていく。 学校だよりや、学年通信、ホームページで積極的に生徒の良さを保護者へ情報を発信していく。</p>
	<p>B3 「教職員は、生徒同士が互いに認め合ったり、ほめたりする環境づくりに心がけている」</p> <p>【数値指標】 ⇒ <b>生徒の肯定的回答 82%以上</b></p>	<p>① 行事等の振り返りワークシートの中に、他の生徒の取組を認める項目を設けたり、ワークシートを掲示したりして、生徒同士の称賛意識を高める。</p> <p>② 授業にグループ活動を取り入れるなど、互いの意見を交わす場を設定し、他者の考えに触れさせ、尊重する意識を高める。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 <b>85.2% (+ 3.2)</b></p> <p>【次年度の方針】 保護者、住民の肯定回答率が低いので、積極的に生徒の様子を発信していく必要がある。学びに向かう学級づくりを意識して、自己有用感をもてるような場面を意図的に作る。</p>
	<p>B5 教職員は、生徒が地域の行事などに進んで参加することを励行している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「教職員は、生徒が地域の行事などに進んで参加することを励行している」 ⇒ <b>教職員の肯定的回答 88%以上</b> <b>生徒の肯定的回答 75%以上</b></p>	<p>① 年間を通して、地域のお祭りやイベントに参加することで、地域貢献への意識を高める。</p> <p>② 地域行事への参加の様子を収めた写真や作成した展示物を文化祭で掲示するなどの方法で、ことで、生徒の達成感を高める。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 <b>89.8% (+ 1.0)</b> 生徒の肯定的回答 <b>76.2% (+ 1.2)</b></p> <p>【次年度の方針】 部活動単位での参加は継続しつつ、各種行事ごとに、全校生徒へ参加を呼びかける。 生徒会「ボランティア委員会」を立ち上げ、地域でのボランティア活動や行事に参加する。 継続して参加の様子を収めた掲示物やホームページへの掲載での広報活動を行う。</p>

<p>B6 教職員は、生徒が安全に登下校できるように、交通ルールやマナーを指導している。</p> <p>【数値指標】 ⇒ <b>教職員の肯定的回答 90%以上 生徒の肯定的回答 90%以上</b></p>	<p>① 年2回の交通安全教室を実施し、交通安全への意識を高めると共に、月1回の登校指導や日頃の交通マナーを確認し、生徒の通学状況及び危険箇所等の把握に努める。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 <b>95.9% (+ 5.9)</b> 生徒の肯定的回答 <b>79.6% (-10.4)</b></p> <p>【次年度の方針】 引き続き、年2回の交通安全教室を実施し、交通安全への意識を高めるとともに、月1回の登校指導や日頃の交通マナーを確認し、生徒の通学状況及び危険箇所等の把握に努める。</p>
<p>B7 自主的な学習の進め方ができる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「教職員は、生徒が自主的に学習できるように、学習の進め方を指導している」 ⇒ <b>保護者の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 90%以上</b></p>	<p>① 自主学習の仕方、定期テストに向けた具体的な対策を、各教科の授業や学年集会などで説明し、勉強の仕方を指導する。</p> <p>② 生徒会学芸委員会の活動を通して、自主学習ノートの効果的な活用を促し、ともに学ぼうとする姿勢を育成する。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答 <b>70.4% (- 9.6)</b> 生徒の肯定的回答 <b>88.2% (- 1.8)</b></p> <p>【次年度の方針】 新学期に「きよはら学習ガイド」を利用して学習の進め方を指導するとともに、保護者会での説明や学習だより等を通して自主学習の大切さについて広報を行う。</p>
<p>B8 生徒は、給食後に歯みがきを励行している。</p> <p>【数値指標】 ⇒ <b>教職員の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 92%以上</b></p>	<p>① 保健だよりや給食だよりを発行し、食育と絡めた健康教育を推進するとともに、学級担任や生徒会保健体育委員から、歯みがきの励行を呼びかける。</p> <p>② 地域学校園で連携を図り、小学校で習慣化した歯みがきを継続させることにより、歯科保健活動を推進する。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 <b>93.9% (+13.9)</b> 生徒の肯定的回答 <b>92.9% (+ 0.9)</b></p> <p>【次年度の方針】 引き続き、教職員や保健体育委員会で歯みがきの励行を呼びかけるとともに、地域学校園で連携を図り、歯科保健活動を推進していく。</p>
<p>B9 「教職員は、生徒が学級や小集団の中で、その一員としての役割を果たすように適切な支援を行っている。</p> <p>【数値指標】 ⇒ <b>生徒の肯定的回答 90%以上</b></p>	<p>① 生徒の特性を踏まえて、学級組織や生徒会各種委員会へ所属させ、責任を果たす成功体験を重ねることを通して、自己有用感を高める指導を行う。</p> <p>② 学校行事等を通して、生徒が互いに励ましあい、認め合えるような学級経営を行う。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 <b>91.8% (+ 1.8)</b></p> <p>【次年度の方針】 小グループでの活動を充実させていく。普段の授業をはじめ、すべての教育活動を通して「言語活動の充実」を意識した教育活動を行っていく。</p>
<p>B10 教職員は、生徒が自己理解をしたり、将来の進路を選択したりできるように、適切な支援を行っている。</p> <p>【数値指標】 ⇒ <b>教職員の肯定的回答 90%以上 生徒の肯定的回答 85%以上</b></p>	<p>① 働く人へのインタビューや社会体験学習を通して、自己を見つめ、将来の生き方について考えさせる機会をもたせる。</p> <p>② 教育相談や進路相談を通して、将来の目標に向けてのアドバイスを行う。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 <b>85.7% (- 4.3)</b> 生徒の肯定的回答 <b>87.1% (+ 2.1)</b></p> <p>【次年度の方針】 総合的な学習の時間にキャリア教育をより一層明確に位置付けて、将来の生き方について考えさせる機会をもたせる必要がある。</p>

## 〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

○教職員、保護者、地域住民、生徒への全体アンケート104項目の内、70項目で昨年度に比べ肯定的回答の割合が高くなり、16項目で低くなった。特に改善が見られた項目と課題が残る項目は以下のとおりである。

また、市内中学校の平均を上回った項目は68項目中の25項目になったが、保護者及び生徒の回答では、1項目のみであったことは、憂慮すべきことである。引き続き課題解決に向けた取組を継続することが必要である。

### 【特に改善が見られた項目】

- ・「生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している。」  
〔教職員 83.7% (25P↑) 保護者 79.8% (3.1P↑) 地域住民 100% (18.2P↑) 生徒 82.3% (9.3P↑)〕
- ・「教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている。」  
〔教職員 100% (10.9P↑) 保護者 71.3% (6.4P↑) 地域住民 100% (14.3P↑) 生徒 85.2% (4.6P↑)〕
- ・「学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる。」  
〔教職員 100% (10.9P↑) 保護者 70.2% (13.1P↑) 地域住民 93.3% (18.3P↑) 生徒 91.8% (4.7P↑)〕
- ・「生徒は、時と場に応じた言葉づかいをしている。」  
〔教職員 81.6% (40.3P↑) 保護者 77.9% (6.2P↑) 地域住民 100% (9.1P↑) 生徒 75.9% (7.1P↑)〕
- ・「生徒は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している。」  
〔教職員 95.9% (31.5P↑) 保護者 82.1% (6.8P↑) 地域住民 100% (33.3P↑) 生徒 79.9% (14.2P↑)〕

### 【特に課題が残る項目】

- ・「学校は、学校だよりや学校公開などで、積極的に情報を発信、提供している。」  
〔教職員 100% (6.5P↑) 保護者 93.2% (1.1P↓) 地域住民 89.5% (0.5P↓)〕
- ・「学校は、小学校と中学校が連携した取組を主体的に行っている。」  
〔教職員 93.9% (5.0P↑) 保護者 91.2% (1.3P↑) 地域住民 100% (9.1P↑) 生徒 69.4% (9.7P↓)〕
- ・「生徒は、休み時間や放課後などに積極的に運動している。」  
〔教職員 83.7% (8.1P↑) 保護者 76.5% (4.5P↑) 地域住民 94.1% (5.2P↑) 生徒 67.9% (3.8P↓)〕
- ・「教職員は、生徒が地域の行事などに進んで参加することを励行している。」  
〔教職員 89.8% (2.8P↑) 保護者 58.2% (8.8P↓) 地域住民 82.4% (17.6P↓) 生徒 76.2% (2.2P↑)〕
- ・「教職員は、生徒が安全に登下校できるように交通ルールやマナーを指導している。」  
〔教職員 95.9% (11.1P↑) 保護者 70.6% (3.3P↑) 地域住民 73.7% (6.3P↓) 生徒 79.6% (7.9P↓)〕

### 【成果】

学校は、生徒が安全で安心して学校生活が送れるように、「生活のきまりやマナーを守ること」「分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導」「いじめ対策への積極的な取組」等に力を入れて取り組んでいる。その結果として、かなりの改善が見られた。

教職員の授業力の向上に向けての取組も、教職員は、協力体制の中で、授業の教材研究や校内公開授業（一人一授業）の充実等により、生徒の興味関心を高め、個に応じた支援を行うためのスキルも向上している。

### 【課題】

生徒の学力向上に関して、教職員の取組は改善されてきているが、それがまだ生徒の学力向上にまでは結びついていない。自主学習ノートの取組や家庭学習の意義、生徒が意欲的に学ぶ習慣についても、より一層の工夫改善が必要である。

地域とともにある学校づくりにおいても、家庭・地域との連携や学校公開、授業公開、ホームページや学校だより等での情報発信等、様々な工夫改善が求められている。

生徒や教職員の地域貢献活動等のボランティア活動に関しても同様で、より多くの生徒や教職員の参加を促す工夫が求められている。

## 6 学校関係者評価

### 【成果】

- ・生徒たちは、安全で安心して学校生活が送れているようで、全般的に学校生活において一生懸命に取り組んでいると思う。学習への取り組み方も変わってきている。
- ・PTA活動も、かなり積極的に取組まれていて、他校にも引けを取らない活動が出来ていると思う。
- ・ボランティア活動にも、多くの生徒が参加して地域行事等に貢献してくれている。
- ・学校ホームページも昨年よりも更新されていてありがたい。

### 【課題】

- ・生徒たちの学力向上については、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導を今後も継続してもらい、清原地域の子供たちの学力向上を図っていただきたい。
- ・小学生や他校の中学生に比べて、あいさつが出来ていないように感じられる。小学生の時には出来ていたあいさつが、中学生になると出来なくなるのは、あいさつの大切さの理解や地域の方々とのふれあいが少ない事が原因なのかもしれない。
- ・学校の情報発信力の低さが危惧される。各種たよりの発行やホームページへの掲載等、やって頂いているが、それらが、保護者や地域住民の方々に見ていただけていない現状がある。  
ホームページならば、見る人の興味を引くようなデザインへの変更や掲載方法の工夫等を考える必要があると思う。各種たよりの配布も、保護者が確実に目にできる方法を考えるべきである。
- ・より一層の交通マナーの向上が望まれる。これまでも交通安全指導は行われているが、登下校指導の方法を工夫して頂き、登下校中の交通事故ゼロを目指してもらいたい。
- ・ボランティアで地域に貢献している意識を持たせるための工夫が必要である。現在の、やらされている感覚を払拭し、自ら進んで行うボランティアの意義を理解させる必要がある。
- ・清原中として、どのような生徒を育てたいのか、それが分かる質問項目を作り、その目標達成のために努力していく。

## 7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

### 「どのような人材育成を目指すのかを明確にし、地域とともにある学校づくりを行う。」

#### (1) 育てたい資質・能力

「学ぶこと」「働くこと」「生きること」を考えさせ、社会的自立を目指すキャリア教育に小中が一貫して取り組み『人間力』の育成を図る。

- ・自ら課題を見つける力・幅広い視野・温かい心情の育成

#### (2) 具体的取組

##### ①各教科、特別の教科である道徳、総合的な学習の時間並びに特別活動の充実

- ・基礎・基本の徹底を図るための指導法の研究
- ・基本的学習態度及び学習習慣の定着を図るための継続的指導
- ・学力向上のための学習時間の確保と学習方法の理解、並びに家庭学習の習慣化
- ・エンカウンターやソーシャルスキルトレーニングの積極的活用による生徒同士の相互理解の深化やコミュニケーション能力の育成

##### ②環境緑化・美化活動の推進

- ・草花栽培活動や校内クリーン活動、地域清掃活動の実施

##### ③交流活動の推進

- ・地域行事への積極的な参加（ボランティア活動）
- ・高齢者福祉施設や障がい者施設・幼稚園等との積極的な交流

##### ④情報発信の工夫改善

- ・ホームページのデザイン変更やこまめな更新
- ・各種たより等の配布時のお知らせメール配信等

##### ⑤登下校時の交通安全の確保

- ・登下校時の危険個所の点検や立哨指導の方法・場所等を見直していく。